



早川 公二 議員 無会派

問 市道鍋平27号線に歩道設置を

答 愛知県に要望活動を行っていく

問 市道鍋平27号線の拡幅、歩道設置はできないか。

答 建設部長 県に対し、県道への昇格と県事業としての整備を繰り返し要望しているが、事業化の目途は立っていない。

問 県ができないなら市でできないのか。

答 県は他の路線を優先して事業を進めているが、県事業として整備してほしい。

問 今後も危険な状況が続くことに、市はどのように考えているのか。

答 県道に昇格させ、早期事業着手に向け、県に対し要望していく。



▲市道鍋平27号線

問 多くの市民が活用できる施設へ

答 現行案を白紙とし考えていく

問 十四山中学校跡地利活用における整備方針（案）で、グラウンドにした理由は。

答 教育部長 跡地の民間需要の期待が低く、新産業エリア内にあるグラウンドの再編が喫緊の課題であるため。

問 他の利活用は検討しなかったのか。

答 運動部活動が盛んな歴史があり、子どもたちの声が響く施設とすることが、一番ふさわしいと考えた。

問 民間事業者から活用アイデアの提案はなかったのか。

答 提案はない。

問 民間事業者からの活用アイデア募集は続けるのか。

答 継続する。

問 校舎を残せないのか。

答 市長 整備方針（案）は白紙に戻し、今後も住

民説明会で意見を聞く。

問 取り壊した後はどこに避難すればよいのか、収容率は今と同じなのか。

答 総務部長 令和10年4月に、よつば小学校が新たな避難所となり収容人数は増加し、緊急時避難場所の収容率は十四山地区の人口に対して約240%で十分である。



▲十四山中学校跡地